

EXPO 大阪・関西万博

「ジュニアSDGsキャンプ」に参加しました

大阪・関西万博の「ジュニアSDGsキャンプ」にて、2024年度全国ユース環境活動発表大会の全国大会に出場した3高校が、取り組んでいる環境活動を世界に向けて発信しました。当日は活動発表のほか、SDGsや環境問題について自ら主体的に考え、行動・態度変容につながるESD実践の場として、大学生と持続可能な社会について意見交換を行いました。

活動発表の様子



徳島県立小松島西高等学校 TOKUSHIMA 雪花菜工房 × 藻藍部

藻場が海水温の上昇などの影響で減少し、海の生態系や漁業に影響が出ている現状に着目し、藻場再生を目指した取組を進めています。藻場減少の背景要因の一つとして指摘される食害にも着目し、食害魚を活用した商品開発を行うとともに、海藻の生育環境の改善を目的に、環境配慮型の自然資源を活用した肥料の開発に取り組んでいます。食と環境をつながげながら、海を豊かにする仕組みづくりを目指すプロジェクトについて発表しました。



宮城県農業高等学校 Re:温故知新

田んぼに肥料をまき忘れてしまうという大失敗をきっかけに、肥料を減らしても健康に育つ栽培方法や新しい肥料の開発に挑戦。環境にやさしく、持続可能な農業の実現を目指した研究活動を発表しました。



北海道岩見沢農業高等学校 自然エネルギー班

処理方法に課題のある「雪」と「もみがら」を有効活用し、環境に配慮しながら農家の所得向上も期待できる、循環型農業の実現に向けた取り組みを発表しました。



大学生とのディスカッションでは「厄介なものから逃げず、古きものにも学びながら、持続可能な循環をつくっていく上で欠かせないことってなに？」をテーマに話し合いを行いました。高校生と大学生、それぞれ異なる視点で議論が行われました。

高校生の皆さんからは「今後の課題も明確になったのでこれからの活動に活かしていきたい」、「自分たちの活動が、さらに広がっていく可能性を実感した」といった感想がありました。今後の活動の方向性などについて熱心な話し合いが行われ、非常に有意義な交流となりました。

